

公益社団法人全国老人福祉施設協議会
平成 30 年度 認知症介護実践者研修（愛知・名古屋会場）
新カリキュラム移行にあたっての変更点

認知症介護実践者研修（愛知・名古屋会場）は平成 29 年度より、国の通知に基づき新カリキュラムに移行いたしました。従前に開催しておりました当該研修との主な相違を以下にまとめましたのでご確認ください。

- 自施設実習の取り組み期間（4 週間）に変更はありませんが、自施設実習への取り組み方やその内容が変更となります。

	実習内容
1 週目	再アセスメントを実施、実践計画の作成
2 週目	計画に基づき実践（中間報告）
3 週目	計画に基づき実践（計画評価）
4 週目	実践内容の整理・評価・報告資料の作成

【参照】「認知症介護実践者研修実習関連科目ガイドライン」

（認知症介護研究・研修仙台センター、東京センター、大府センター）

PDF ファイル

https://dcnet.gr.jp/pdf/kensyu/sh28_jissen_gude.pdf

- 申込書が新しくなりました。以前の様式を保存して使用されている場合には、必ず新様式をご使用してください。

- 使用するテキストが変わります。平成 28 年度まで使用しておりましたテキストでは対応不可となりますので、まだお持ちでない方は株式会社ワールドプランニング（<http://www.worldpl.com/>）または一般書店（amazon 等でも販売中）にて、新しくお買い求めください。

【新テキスト】「認知症介護実践者研修標準テキスト」（2016 年 7 月発行）

株式会社ワールドプランニング 3,456 円（税込）

- 研修中、実習の対象となるご利用者様の個人情報を使用する場合があります。個人情報は本研修中にのみ使用されるものですが、必ずご利用者様ご本人、そのご家族様、所属事業所の同意を得てください。

すでに旧カリキュラムの認知症介護実践者研修または（旧）痴呆介護実務者研修（基礎課程）を修了されている方については、引き続き国が定める認知症介護実践者研修を修了したものと認められます。